#### 【高砂市】

日 時	会 場	参加人数
令和 6 年 8 月 26 日 (月) 19:00~19:55	北浜地域交流センター	22 名
令和 6 年 8 月 27 日(火) 19:00~20:00	ユーアイ帆っとセンター	120 名
令和 6 年 8 月 29 日(木) 19:00~19:45	曽根地域交流センター	46 名
令和 6 年 9 月 7 日 (土) 15:00~16:00	高砂市役所 南庁舎	45 名
令和 6 年 9 月 10 日(火) 19:00~19:55	高砂地域交流センター	69 名

#### 【特記事項】

- ※1 播磨臨海地域道路本線の説明会で頂いたものと同様の意見及び資料の問い合わせ等に関する内容は割愛しています。
- ※2 同様の主旨の意見はまとめています。
- ※3 ジャンクションやインターチェンジの名称は全て仮称です。

	主 な 意 見	回 答
主な意見	播磨臨海地域道路を有料道路で整備した場合、交通量が予測より大幅に減少し、説明頂いたアクセス道路(高須松村線)は不要となるのではないか。	アクセス道路は播磨臨海地域道路を有料道路とした交通量推計の結果に基づき 検討しているため不要となることはありません。
主な意見	高須松村線や海岸線の車線数を4車線から2車線へ変更することについて、 交通量推計の結果と説明していたが、どのように交通量を推計をしている のか。	交通量推計は、平成27年に実施した全国道路・街路交通情勢調査、自動車起終 点調査を基に、将来の人口や社会経済指標を用いて、車の動きを予測し、将来交 通量を推計しています。
主な意見	路肩を自転車通行帯として整備されることが多いと思う。アクセス道路によって路肩幅が50cmや1.0mと異なるのはなぜか。	アクセス道路の自転車が通行する路肩の幅員は1.0m以上としています ただし、整備当時の計画幅員で事業が完了している路線(中浜阿弥陀線等)は路 肩の拡幅を行わないため、路肩幅員が異なります。
主な意見	逆走する車が心配であるため、逆走対策をお願いする。	逆走防止対策は事業実施段階で事業者が検討します。
主な意見	地域全体で将来交通量は増えるのか、それとも減るのか。	地域全体の交通量は減少傾向ですが、交通量の変化は各路線で異なります。

	主 な 意 見	回 答
主な意見	片側1車線の狭小な道路(沖浜平津線)に高砂東ICが設置できるのか。 また、高砂東ICの北側の交差点は現時点でも危険である。高砂東ICができると企業の大型車が増加し、より危険になるのではないか。	沖浜平津線は既に道路構造令に基づく幅員が確保できており、新たに右折車線を設けることで安全に交通が処理できると考えています。 詳細な計画については、事業実施段階で公安委員会とも協議を行いながら、安全に通行できるよう検討していきます。
意見の趣旨	公園区域が削除されるが、公園機能は維持できるのか。	本線ルートの選定においては住宅等の地域への影響が最小限となるよう、公
な 意	・向島公園・高砂公園を潰すことに対する市の見解や、市が公園を潰すことを認めるに至った経緯を教えて欲しい。 ・播磨臨海地域道路により高砂公園がほぼ廃止されるが、代替の公園は考えているのか。 ・向島公園は親水公園として重要と考えている。駐車場としての活用も考えられるのになぜ廃止するのか。	等の公共用地を活用する方針としています。 向島公園については、野球場やテニスコート等の公園施設を再配置することで、公園機能を維持できると考えています。 高砂公園については、供用している周辺の公園で機能が代替できると考えています。
主な意見	高砂斎場の敷地がかかるが、建て替えの計画か。	高砂斎場の建て替えは想定していません。 高砂斎場の削除する区域は、駐車場や倉庫等で使用されている区域であり、それらの機能を確保すため、一部区域を追加しています。

	主 な 意 見	回 答
意見の趣旨	本線の計画を決めてからアクセス道路等の説明会を開催するべきではないのか。	播磨臨海地域道路本線とアクセス道路等は一体の計画であり、一回の説明会ですべての内容を説明することも検討しましたが、延長が32kmと長く、アクセス道路を含む関連都市計画施設の数も多いため、十分に皆様のご意見を伺うことができないと考え、2回に分けて説明会を開催しています。
主な意見	<ul><li>・本線の計画が決まっていない中で、アクセス道路の意見は出しようがない。</li><li>・本線の計画内容が変わるとアクセス道路も変わるのではないか。</li></ul>	
主な意見	今回で都市計画に係る説明会は最後なのか。聞きたいことが聞けないまま 終わってしまう。時間を延長して質問に対応するという考えはないのか。	5市1町で開催する都市計画に係る説明会は、前回の説明会(本線のルート・構造)と今回の説明会(アクセス道路等)の2回のみですが、自治会から依頼があれば、個別説明について検討いたします。
主な意見	なぜ、説明資料や会場に掲示している図面を配布しないのか。	説明資料はすべての説明会が終了した後に、ホームページで公表する事としています。 会場に掲示している図面は都市計画素案であり、今後変更する可能性があるため、不要な混乱を招かぬように配布していません。 なお、説明会後も県及び説明会を開催した市・町で確認いただけます。

	主 な 意 見	回 答
主な意見	住民の意見を聴いたうえで、内部で検討した内容がわかる協議書、議事録 を提示いただきたい。	この場では回答できません。 情報公開請求があれば法令に基づき対応させていただきます。
意見の趣旨	誰もが理解できるように説明資料を工夫していただきたい。	説明資料については、ご意見を踏まえ、今後改善していきます。 説明資料はすべての説明会が終了した後に、ホームページで公表する事として います。また、会場に掲示している縮尺1/2500の平面図は県及び説明会を開催し
意	・情報量が多すぎて理解できない。 ・路線名で説明されても、住民は日常的に路線名を使わず、理解できない。 ・商業施設や駅等のランドマークを使い、位置関係等を説明していただきたい。 ・具体的な立ち退き範囲が一番知りたい。	た市・町で確認いただけます。  ○兵庫県都市計画課ホームページ https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks21/assess_harimarinkai.html
主な意見	今後、県市町で都市計画審議会が開催されると思うが、高砂市だけが都市計画審議会の状況がHP等から確認できない。	都市計画審議会の要綱等を確認のうえで、公表の是非について検討させていた だきます。

	主 な 意 見	回 答
主な意見	播磨臨海地域道路関係について、これまで高砂市の都市計画審議会で議論 されてきたのか。また、今後の予定は。	都市計画審議会には説明会の開催について報告しています。 今後、市の素案を諮る際にも説明します。
主な意見	南海トラフ地震の発生が危惧されている中で、神戸市から太子町までの軟弱地盤に道路を計画するというのは問題。地質調査はどのように実施しているのか。また、今後どのように実施するのか。	地質については、現時点では既往の文献調査等で確認しており、事業実施段階で詳細な地質調査を行います。 なお、橋梁については阪神・淡路大震災や熊本地震等を経て、基準等の見直しが行われています。そのため、耐震性能が向上しているため、地震時においても機能する道路となります。
主な意見	伊保ICから西側に計画しているアクセス道路は、松村川、天川の上を通るが、アクセス道路自体も高架か。早期の開通を願っている。	渡河部は橋梁だが、それ以外は平面で計画しています。